

# K.I.T.虎ノ門大学院 シラバス 2012 - ビジネスアーキテクト専攻

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先:虎ノ門事務室[メール or 電話])

※ 授業中の食事は控えてください。また、携帯電話をマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科 目 名	区分/コード	単位数	VOD 閲覧	開講期
チェンジマネジメント特論1	主要科目 8647	1	学内 のみ	2期 (前学期)
Innovative Change Management 1				
担当教員名	Eメールアドレス		連絡方法/オフィスアワー	
山田英二 佐藤龍太郎	-		メールアポイントにて随時	

## 関 連 し て い る 科 目 (履修推奨科目)

チェンジマネジメント特論2

## 授 業 の 概 要 と 到 達 目 標

### 授業の主題と概要

チェンジマネジメントの本質は、バランスと個性にある。

本科目は、「多彩なアプローチ・ゲスト」と、「自分で考える」授業である。本科目(特論1)は、「理論編」として構成する。現在の激しい経営環境の中、多くの企業が業務改革に取り組んでいる。しかし、業務改革の計画を早く、着実に実行するための「変革のマネジメント」について十分な準備と知識ができていないため、元に戻ってしまったり、予測されたスピードで変革が進まないケースがほとんどである。現代経営の中核であるチェンジマネジメントの概念と基礎知識を取得し、今までの業務改革の成功要因および失敗要因をケーススタディを通して分析し、チェンジマネジメントはともより組織改革から知識改革までの成功のこつを見極めるための現実感とノウハウを学ぶ。

チェンジマネジメントの全体感をつかむため、ケースメソッドを中心とした参画型の授業を行う。

- ① そもそもチェンジマネジメントとは何か? (コンセプトの理解)
- ② 何故チェンジしなければならないのか? (企業を取り巻く環境、企業の慣性)
- ③ どのようにチェンジするのか? (ビジョンの設定)
- ④ 目標をどう達成させるのか? (流れの把握、変化の予測)

### 到達(習得)目標

チェンジマネジメントはともより組織改革から知識改革までの成功のこつを見極めるための現実感とノウハウを修得する

### 受講対象者

経営企画担当者、組織企画担当者、IT コンサルタント、プライベートエクイティ  
業務責任範囲: 事業構造・業務プロセスの変革、新IT システムの導入、企業合併後の事業・組織統合

## 履 修 上 の 注 意 事 項 や ア ド バ イ ス

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位取得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 本科目は、2コマ連続クラス(180分×4日間、合計8コマ)で構成する。

## コ ン ピ テ ン シ 修 得 目 標

知識領域(Y軸)		ヒューマンパワー(Z軸)		思考プロセス(X軸)	
Y1: 基盤テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用サービス		Z2: 独創力		X2: 構想	○
Y3: ビジネスプロセス	○	Z3: ソリューション力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: ビジネスモデル		Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: ビジネスマネジメント[ビジネス]		Z5: 変革推進力	○	X5: 変革	○
Y6: ビジネスマネジメント[知財]		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
-	-	Z7: リーダーシップ力	○	X7: 評価・検証	
-	-	Z8: オーナーシップ力		X8: ライフサイクル	

## プ ラ ク テ ィ カ ム

イベント/ケース	教育技法	マテリアル/ツール
1 独自コンテンツの講義・ディスカッション	講義/ディスカッション	PPT など/当日配布予定
2 事例:東ハト	ディスカッション/ケーススタディ	資料は後日提示
3 事例:星野リゾート	ディスカッション/ケーススタディ	資料は後日提示
4 事例:日産 (ビジョンとその周知徹底)	ディスカッション/ケーススタディ	資料は後日提示
5 議題:フェアプロセス(自発的変革を促す方法論)	ディスカッション	資料は後日提示
6 テスト:ケース分析	変革事例の分析	資料は後日提示

評 価 の 方 法		
(総合評価項目と割合)		評 価 の 要 点
出席・受講態度、提出物、講義中の貢献度	70%	毎回、事務局より出席簿を準備する。
グループ発表及びテスト	30%	
合 計	100%	
テキスト、参考図書 など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください ※		
テキスト (購入が必要)	「企業変革力」ジョン・コッター(日経BP、2002) 「ルネッサンス」カルロス・ゴーン(ダイヤモンド、2001)	
参考図書 (購入は任意 ・講師推奨)	「企業変革ノート」ジョン・コッター(日経BP、2001) 「8段階モデルによる企業変革実践マニュアル」(中央経済、2007) 「お菓子を仕事に出来る幸福」東ハト編(日経BP、2004)	
参 考 URL		
適宜紹介予定		

※講師担当回や事例を変更する場合がある。

週	学 習 内 容		事前準備	担当者	時間
1	チェンジマネジメントとは何か? チェンジ・プロセスを分析する(1) 事例:東ハト		別途配布する質問票への回答	山田	180分
6/16	イベント	ミニプレゼンテーション(質問票に基づく) / ディスカッション			
2	チェンジ・プロセスを分析する(2) 事例:星野リゾート 変革の事例研究(文献) 事例:日産(ヴィジョンとその周知徹底) 議題:フェアプロセス(自発的変革を促す方法論)		事前課題(後日指示)を読みポイントを各自まとめておく	山田	180分
6/30	イベント	ミニプレゼンテーション(質問票に基づく) / ディスカッション			
3	変革の事例研究(匿名の実例をベースに変革の実際を紹介)		別途配布する質問票への回答	佐藤	180分
7/14	イベント	ディスカッション			
4	テスト:ケース分析 (ケース分析の後、質疑応答を含む) テストの解説・ディスカッション コースのまとめ		当日配布する資料に基づき、変革の事例を分析する	山田	180分
7/28	イベント	各自ケース課題に取り組む / ディスカッション			

学習内容やスケジュール等、状況に応じて、一部変更・改善が生じる場合もあります。  
講義収録は、特別講師を招く場合を含め、事情によっては収録できない場合もあります。  
予めご了承ください。

専任教授 確認記録欄
確認者氏名: 三谷

◀ 虎ノ門事務室: 03-5777-2227 / tokyo@kanazawa-it.ac.jp ▶